

靖国神社公式参拝の中止求める

真宗教団連合が首相に要請文

浄土真宗の10宗派で組織する真宗教団連合は8月3日、首相・閣僚による靖国神社公式参拝の中止を求める要請文を安倍晋三首相宛に提出した。足利善彰・企画専門委員会委員長が自民党本部で田中和徳組織運動本部長に手交した。

真宗教団連合は1969（昭和44）年の結成から一貫して、首相

法から見た問題点を指摘。「今日まで日本は現憲法の『戦争放棄』のもと恒久的な平和の実現を求めてきました。あらためて靖国神社公式参拝のもつ問題性を十分に認識され、公式参拝を行わないよう要請いたします」とも閣僚が公式参拝すること、今後とも世界平和に向けた取り組みを進められますよう要望いたします」としている。

全日本仏教会も

全日本仏教会は8月

3日、安倍晋三首相宛に「首相及び閣僚の靖国神社公式参拝中止の要請」文書を提出。倉澤豊明事務総長が自民党の田中和徳組織運動本部長に手交した。「一宗教施設である靖国神社に、首相及び閣僚が公式参拝すること、どのような形式をとったとしても、日本国憲法に定める『信教の自由』『政教分離』の原則に反すること、疑いの余地がありません」としている。